教科シラバス

◆教科	エステ	◆科目		◆科目コード	60101	◆授業の方法	学科・実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（前期）	◆担当教員	専任教員・非常勤講師（実務経験あり）	◆授業の回数	3h×20
◆授業の目的と概要	エステティックとはを理解し、衛生消毒の重要性と下肢ボディマッサージ技術を学ぶ。 美肌についての知識を身につける。						
◆到達目標	学科・美肌についての知識を学ぶ。美肌検定合格、美肌エキスパートを取得する。骨格・筋肉・身体の構造を覚える。 実技・日本エステティック協会ボディ実技の手技効果を学び、下肢トリートメントマッサージ技術をマスターする。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材		備考
1	学科	学科/エステティックについて 美肌検定の本P8~13	エステティックとはの説明、美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について	美肌検定の本		
2	実習	①実習/身だしなみの説明フェイシャルホームケア製品の説明とケアの重要性	フェイシャルホームケア製品の説明	ホームケア製品・モニター		
3	学科	学科/美肌検定の本P16~24	美肌ケアの基本・運動と栄養について			
4	実習	②実習/身だしなみ・ワゴンセッティング・消毒・衛生について	衛生の必要性			
5	実習	学科/体型や脂肪・セルライトについて ③実習/セルフケアマッサージ	ホームケアの重要性を学ぶ。体型維持の為にできるホームケアについて知る。			
6	学科	学科/美肌検定の本P25~31・理論と技術の教科書P59~	皮膚の構造と働きについて、4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造について			
7	実習	④実習/下肢後面相モデル① マッサージ練習	軽擦法・手法と効果の説明と練習・HOTタオルの拭き取り（デモンストレーションも含む）			
8	学科	学科/美肌検定の本P32~46・理論と技術の教科書P59~	年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について、睡眠とホルモン女性ホルモン、お手入れについて			
9	実習	⑤実習/下肢後面相モデル② マッサージ練習	軽擦法の復習 / 強擦法・手法と効果の説明・足裏までの手技練習			
10	学科	学科/美肌検定の本 理論と技術の教科書	体調と肌、活性酸素とは？活性酸素の要因			
11	実習	⑥実習/下肢後面相モデル③ マッサージ練習	前回までの復習・膝を曲げる手技まで/手法目的の解説デモンストレーション・手技練習			
12	学科	学科/美肌検定の本 理論と技術の教科書	女性ホルモンと肌、季節にあったお手入れについて			
13	実習	⑦実習/下肢後面相モデル④ マッサージ練習	前回までの復習 / 揉捻法の手法と効果の説明デモンストレーション・手技練習			
14	学科	学科/美肌検定の本 理論と技術の教科書	クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて			
15	実習	⑧実習/ 下肢後面相モデル⑤ マッサージ練習	前回までの復習・手技通し練習			
16	学科	学科/美肌検定の本・確認テスト① 理論と技術の教科書（マッサージ手技・手法・目的・効果テスト）	学科確認テスト①フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関係する表情筋			
17	実習	⑨実習/下肢前面相モデル⑥ デモンストレーション＆マッサージ練習	手技通し練習・ハンドマッサージ			
18	学科	学科/美肌検定の本・確認テスト② 理論と技術の教科書（筋肉・骨格テスト）	学科確認テスト②			
19	実習	⑨実習/下肢後面相モデル⑦ 実技テスト	技術確認テスト			
20	実習	⑩学科/美肌検定	最終下肢マッサージテクニックチェック			

評価方法及び基準	授業8割以上の受講をもって、試験の結果により次のとおり評価する。 【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価 ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	メイク	◆科目		◆科目コード	60201	◆授業の方法	実習・講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（前期）	◆担当教員	専任教員	◆授業の回数	3h×20
◆授業の目的と概要	スキンケア・メイクアップの基礎知識を習得する。 自分の顔立ちを用いて、道具の取り扱いを習得する。						
◆到達目標	スキンケア製品・メイクアップ製品が持つ特性を理解して、技術を行うことができるようになる。						

回数	授業の方法	授業内容	使用教材
1	実習	教材配布・顔パーツの名称・メイクアップについて	配布教材・ブラシ・中性洗剤
2	実習	フェイス分析・スキンタイプ	筆記用具・定規
3	実習	スキンケア・日やけ止め	クレンジング・洗顔・化粧水・美容液・乳液・クリーム・日焼け止め・コットン
4	実習	色と質感・グラデーション	画用紙・鉛筆・アイシャドウ
5	実習	パウダーアイシャドー・ペンシルアイライン・リキッドアイライン	パウダーアイシャドウ・ペンシルアイライナー(丸目)・リキッアイライナー(垂れ目)
6	実習	クリームアイシャドー・リキッドアイライン・ビューラー・マスカラ	クリームアイシャドー・リキッドアイライン(切れ長・キャット)
7	実習	ペンシルアイブロウ・パウダーアイブロウ	パウダーアイブロウ・ペンシルアイブロウ・パウダーアイシャドウ・ペンシルアイライナー
8	実習	リップ・チーク・ハイライト&ローライト	口紅・パウダーチーク・パウダーハイロー・パウダーアイシャドウ・ペンシルアイライナー
9	実習	グロス・チーク・ハイライト&ローライト	グロス・クリームチーク・クリームハイロー・パウダーアイシャドウ・リキッドアイライナー
10	実習	メイクアップベース・ファンデーションテクスチャーチェック	メイクアップベース5種・パウダーファンデーション(粉)
11	実習	ファンデーションツールチェック	メイクアップベース・リキッドファンデーション(フィンガー・ブラシ)・ルースパウダー
12	実習	フェイスパウダーチェック	メイクアップベース・スティックファンデーション(スポンジ)・ルースパウダー・プレストパウダー
13	実習	コントロールカラーチェック	コントロールカラー6種・クリームファンデーション(スポンジ)・ルースパウダー
14	実習	コンシーラーチェック	クリームコンシーラー・クッションファンデーション(パフ)・(フェイスパウダー)
15	実習	顔の縦バランス・目の横幅・アイブロウ太細	パウダーファンデーション(ウェット)・ルースパウダー・パウダーチーク・パウダーアイシャドウ・ ペンシルアイライナー・パウダーアイブロウ
16	実習	顔の横バランス・目の上下・アイブロウ短長	リキッドファンデーション・ルースパウダー・パウダーチーク・パウダーアイシャドウ・ リキッドアイライナー・ペンシルアイブロウ
17	実習	顔の面積・目の間隔・アイブロウ上下	リキッドファンデーション・ルースパウダー・パウダーチーク・パウダーアイシャドウ・ ペンシルアイライナー・ペンシルアイブロウ
18	実習	イメージメイクアップ	
19	実習	イメージメイクアップ	
20	テスト	セルフメイクアップ	

評価方法及び基準	
	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする（授業8割以上の受講をもって評価する）
	【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	ネイル	◆科目		◆科目コード	60301	◆授業の方法	実習・講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（前期）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×30
◆授業の目的と概要	ネイルケア、カラーリング、ネイルアート、に関する基本的な技能及び知識を学ぶ						
◆到達目標	ネイリスト技能検定試験3級合格						

回数	授業の形式	授業内容（実習）	授業内容（学科）	備考
1	学科		教材配布、チェック	
2	実習・学科	ウッドスティック削り	ネイルの歴史、爪の構造と働き、カットスタイル	
3	実習	カットフォーム		
4	実習・学科	ネイルケア	爪の構造小テスト	
5	実習	ポリッシュカラーリング		
6	実習・学科	ネイルケア ポリッシュカラーリング	消毒法	
7	実習	ネイルアート		爪の構造追試
8	実習	ネイルアート		
9	実習・学科	ネイルケア	消毒法小テスト ネイルのための皮膚科学、爪や皮膚の病気とトラブル	
10	実習・学科	ネイルケア	化粧品学	
11	実習	ネイルアート		
12	実習	ネイルケア		
13	実習	ポリッシュカラーリング		消毒法追試
14	実習	ネイルケア		
15	実習	ポリッシュカラーリング		
16	実習	ネイルケア カットスタイル		
17	実習	ポリッシュカラーリング		
18	実習	ネイルケア ポリッシュカラーリング		
19	実習	ポリッシュカラーリング		
20	実習	ポリッシュカラーリング、ネイルアート		
21	実習	ポリッシュカラーリング、ネイルアート		
22	実習	ネイルアート	学科テスト 3級検定対策	
23	実習	3級検定実習		
24	実習	3級検定実習		
25	実習	実技テスト（ネイル検定3級の合格基準に沿って）		
26	実習	実技テスト		
27	実習	3級検定実習		
28	実習	3級検定実習		
29	実習	ネイルアート		
30	学科		道具の返却チェック	

評価方法及び基準
学科テストの点数×0.5+実技テストの点数の合計×0.5
学科：小テストを2回→各20点換算、検定模擬試験→60点満点
実技：25回目授業の実技テスト→100点満点
【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	ファッション	◆科目	パーソナルカラー3級	◆科目コード	60401	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（前期）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	似合う色提案であるパーソナルカラーは、メイク・ヘアー・ファッションに活用できるデザイン理論である トータルビューティ科：パーソナルカラー検定3級の内容を授業で行い、パーソナルカラーの基礎的な知識の土台をつくる						
◆到達目標	パーソナルカラーの歴史、イエローベース・ブルーベース、4シーズンの理解を深め、各美容業界での活用について基礎的な知識の構築						

回数	授業方法	授業内容	使用教材
1	講義	パーソナルカラーとは（イエローベース・ブルーベース、4シーズンの概要）	過去問31・クリップ配布
		ドレープに手をのせよう（囲まれた色によって肌の見え方の違いを見る）	色相環作成
		無彩色・有彩色・トーン図・色相環（色彩基礎知識を学ぶ）	ドレープ
2	講義	トーン図（明度・彩度の複合概念）	過去問31・トーンカード
		アンダートーン・4シーズンと三属性	チェックシート作成（肌の色）
		PI:（生まれ持った肌の色・瞳の色・血管の色）の違いを見る	
3	講義	PI・パーソナルアイデンティティ マトリックス図に当てはめて（色相環・明度・彩度）	過去問31
		色名（似合う色の提案のため）	
		慣用色名（SP/AU/SU/WI） SPRING	
4	講義	PI・パーソナルアイデンティティ と 色相環・明度・彩度 との関連性	PIカード
		似合う・似合わない（色と肌の対比から提案色を見つける）	過去問31
		慣用色名（SP/AU/SU/WI） AUTUMN	
5	講義	PI・パーソナルアイデンティティ と 色相環・明度・彩度 との関連性	PIカード
		ドレーピング（24色の布を使い、似合う色の提案技術を学ぶ）	過去問31
		慣用色名（SP/AU/SU/WI） SUMMER	
6	講義	ドレープ実習	ドレープ・鏡・チェックシート
		慣用色名（SP/AU/SU/WI） WINTER	タオル
7	講義	慣用色名テスト	旗作り・慣用色名カード
		コラージュ作成（パーソナルカラー4シーズン）	過去問31・コラージュプリント
		光と色	
8	講義	骨格診断 脂肪のつき方、筋肉のつき方によって、ファッションデザインを考える①	過去問31・豆本・慣用色名カード
		慣用色名・PI・コラージュ提出	
		対比（色相対比・明度対比・彩度対比）	
9	講義	骨格診断 脂肪のつき方、筋肉のつき方によって、ファッションデザインを考える②	過去問28・豆本・慣用色名カード
		慣用色名・光と色	
		過去問①	
10	講義	慣用色名・PI・対比	過去問29・豆本・慣用色名
		過去問②	

評価方法及び基準	
	テスト2回のうち高得点の方を評価の対象にする。さらに授業への取り組み方によって授業回ごとに1点減点。
	【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	ファッション	◆科目	パーソナルカラー2級	◆科目コード	60402	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	似合う色提案であるパーソナルカラーは、メイク・ヘアー・ファッションに活用できるデザイン理論である トータルビューティ科：パーソナルカラー検定2級の内容を授業で行い、パーソナルカラーの基礎的な知識をもとに、他者に対してアドバイスができるようになる						
◆到達目標	色彩学の基礎・配色技法・クライアントを中心にした色素のアドバイスを学び、各美容業界で活用できる知識の構築						

回数	授業方法	授業内容	使用教材
1	講義	PCCSの色表示（色を伝える・記録するための基礎）・各シーズンの似合う色（SP/AU/SU/WI）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		物体の色が見える仕組みと混色（反射・吸収・透過　加法混色・減法混色）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）　SPRING	ハサミ・のり・色鉛筆
2	講義	色彩心理（色が心に及ぼす効果を学ぶ）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		PIのおさらい　ヘアカラー・メイク・アクセサリー	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）　SUMMER	ハサミ・のり・色鉛筆
3	講義	ドレーピング（24色の布を使用して似合う色の提案技術を学ぶ）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		色素のアドバイス（肌・髪・眼の色素から導き出された似合う色の提案の仕方）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）　AUTUMN　・　WINTER	ハサミ・のり・色鉛筆
4	講義	色彩調和・配色１（統一と変化　色相配色・トーン配色）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		ファッションアイテム（スカーフ・バッグ・メガネ）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）　SPRING	ハサミ・のり・色鉛筆
5	講義	色彩調和・配色２　（アクセントカラー・セパレーション・グラデーション）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		ブライダル（ブライダルシーンでのパーソナルカラーを使った提案）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		色素のアドバイス（肌トラブル・日焼け・加齢）	ハサミ・のり・色鉛筆
6	講義	色彩調和・配色３（ドミナントカラー・ドミナントトーン・トーンオントーン）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		似合う見え方・似合わない見え方（身につける色によって変わる印象を学ぶ）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		クライアントに寄り添ったアドバイス　親身なコミュニケーション	ハサミ・のり・色鉛筆
7	講義	クライアントに寄り添ったアドバイス　親身なコミュニケーション	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		似合う見え方・似合わない見え方（身につける色によって変わる印象を学ぶ）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）	ハサミ・のり・色鉛筆
8	講義	色彩調和・配色４　似合う配色の提案（SP/AU/SU/WI）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		似合う見え方・似合わない見え方（身につける色によって変わる印象を学ぶ）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用慣用色名（SP/AU/SU/WI）	
9	講義	テスト１（過去問を使用し、習得度を確認する）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
			過去問25
10	講義	テスト2（過去問を使用し、習得度を確認する）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
			過去問26

評価方法及び基準
テスト2回のうち高得点の方を評価の対象にする。さらに授業への取り組み方によって授業回ごとに1点減点。
【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	教養文化	◆科目	アロマテラピー	◆科目コード	60604	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	アロマテラピーとは何かを学び、市場におけるアロマテラピーの役割、需要を知る。 その中で、自分のライフスタイルや、自分が活躍を希望する分野で、どの様にアロマテラピーを活用するのかを考えていく。						
	アロマテラピーを通し、自分自身を見つめ、自分の将来像と照らし合わせながら、就職や自己実現に役立てる。						
◆到達目標	様々な精油の効果、効能、活用の仕方について習得する。アロマテラピー実習を体験しながら、理解を深める。						

回数	授業の形式	授業内容①	授業内容②	使用教材	備考
1	講義	オリエンテーション	＊精油のプロフィール　30種　（10回に渡って習得）	アロマテラピー検定　公式テキスト	
		アロマテラピーとは何か	＊アロマテラピー実習（クレイセラピー・アロマ		
		アロマテラピー協会、資格について	トリートメント等　を行う）		
2	講義	アロマテラピーの基本			
		精油について			
3	講義	アロマテラピーの安全性			
4	講義	アロマテラピーを実践する			
5	講義	アロマテラピーのメカニズム	中間テスト		
6	講義	アロマテラピーとビューティ＆ヘルスケア			
7	講義	アロマテラピーの歴史			
8	講義	アロマテラピーに関する法律			
9	講義	アロマテラピーに関連する職業と活躍分野			
10	講義	授業まとめ	総合テスト		

評価方法及び基準	
	課題評価、テスト、授業への取り組みの姿勢、出席点による総合評価
	課題評価30点→1課題10点とし、3回提出(十分満足と判断→9～10点、概ね満足であると判断される→7～8点、可（4～6点）、もう少し努力が必要→1～3点、未提出→0点）
	授業への取り組みの姿勢30点→忘れ物10点、居眠り10点、学習への取り組み方10点（1ポイントずつの減点方式）
	テスト評価30点→中間テスト(5回目)10点、総合テスト(10回目)20点
	出席点10点→3時間単位の授業1回出席ごとに1点
	【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価

教科シラバス

◆教科	教養文化	◆科目	英会話	◆科目コード	60606	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（前期）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	主にロールプレイングやペア練習を通して、英語を使う「場面」に慣れていきます。 コロナが収束し、訪日外国人が過去最高ペースで増加している中、彼らと交流する機会もあることでしょう。想定される会話を通して、効果的な表現を学びます。						
◆到達目標	ボキャブラリーを増やし、会話能力を上げる。 自己主張が苦手と言われる日本で教育を受けた私たちが、英語を話すときの、気持ちの持ち方を習得する。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材
1	講義	講師自己紹介		
		英語を学ぶ理由・意義、英語の基本的なつくり		
		ペアでの自己紹介練習（簡易版）→クラス全体へ向けて他己紹介	アイスブレイクのコツ	
		自己紹介（本格版）を全体に向け発表		
2	講義	体調を答える時のバリエーション	I'm fine.の多用を避けよう	
		自己紹介（本格版）の発表続き		
		相手の出身地について、既知の情報が少ない場合に会話を広げる練習	What is it famous for?	
3	講義		前回までのQuiz（小テスト）	
		地元名物の紹介文導入（岐阜タンメンの効果的な説明）	①概要②詳細③付加情報の順	
4	講義	地元名物の紹介（岐阜タンメン）の発表		
		○○国産の名産品の紹介文導入	その名産品を知らない人でも理解できるよう、知ってる単語をつなげて説明	プリント
			様々な国に関する話題に親しむ	
5	講義	○○国産の名産品について発表	①導入②概要③詳細、の順	
		日・英で意味の異なる国：American	American cofeeは通じるの？	
6	講義	How are you?の代替表現を学ぶ	What are you up to?	
			第2回Quiz（小テスト）	
		道案内（前半）の表現導入（名駅→名古屋城）		
7	講義	体調不良時の表現を学ぶ		
		道案内（前半）の発表（名駅→名古屋城）		
		道案内（後半）の導入＆発表		
8	講義		第3回Quiz（小テスト）	
		英語と日本語で異なる単語の意味	飲料の名前でも違いがある？？？英語で呈茶してみよう	
		おしゃれに関するグッズの英語名は？？？	日本人が間違えやすい単語	
9	講義	お肌の調子を英語で話そう		
		化粧品の特長を英語で語ろう		
		ガールズトーク：恋愛について語ろう	元カレ・今カレってなんていう？	
10	講義	会計処理の表現（導入）		
		会計処理の表現（発表）		
			第4回Quiz（小テスト）	

評価方法及び基準	
	主に英会話のペア／グループ発表により次のとおり評価する。
	【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	教養文化	◆科目	韓国語	◆科目コード	60609	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（前期）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	ハングルを読めるようにハングルの仕組みを理解し、使えるようにするために学ぶ。また、聞く・話す・読む・書くの基本的なスキルをバランスよく練習し、						
	日常で使える挨拶や簡単な会話能力を身につけることを目指す。						
◆到達目標	簡単な日常会話を理解し、会話ができるようになること。						
	短い文章を読んで理解し、書くことができるようにすること。						
	文法と語彙の基本的なルールを理解し、適切に使えるようになること。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材
1	講義	韓国語はどのように構成されいるのか。	ハングルの仕組み	
			基本母音	
			子音（平音）	
			子音（激音）	
2	講義	ハングルが読める！	子音（濃音）	
			パッチム	
			合成母音	
3	講義	第1課　私は日本人です。		
4	講義	第2課　日本人ではありません。		
5	講義	第3課　それはなんですか。		
6	講義	第4課　約束があります。		
7	講義	第5課　会社はどこにありますか。		
8	講義	第6課　週末は何をしますか。		
9	講義	第7課　そんなに遠くありません。		
10	講義	まとめ授業		

評価方法及び基準	
	テキストを使って20問の筆記テストで評価する。
	・ハングルの仕組みを理解し、読めることができるか。・文法と語彙の理解、基本的な文法ルールや語彙を正確に使えるか
	・日常で使える挨拶や簡単な会話ができるのか。
	【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	教養文化	◆科目	就活マナー	◆科目コード	60610	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（前期）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10

◆授業の目的と概要	さまざまな接客の現場で求められる「話し方」を「電話応対」を中心に学び、ビジネススキル・マナーを身に付けます。名刺交換・来客応対・ 打ち合わせなどの接客時に行動できるように実践します。「好感のもてる立ち居ふるまい、話し方」を身につけることは、就活時の面接対応や や社会人になった時にも大いに役立ちます。目標に持って取り組み、大切な時に力を発揮できるように取り組みます。
◆到達目標	□面接やアルバイト先で授業で学んだことを発揮できる □接客業者として必要な資質、実務、人間関係、技能を理解できる。 □日々ブラッシュアップする意識を育み、毎日の積み重ねが人生をつくることを理解する。

回数	授業方法	授業内容	テキスト	
1	講義	電話応対の基本 ①電話応対の4つの基本 ②敬語の基本	P8～30	
		※ビジネス敬語のルール10」ホワイトボードに書いたものを写す		
2	講義	電話をうけるⅠ ①電話の取り次ぎ	P32～49	
		※発声・活舌レッスン		
3	講義	電話を受けるⅡ ①電話を受ける時のポイント ②電話を受けるまとめ	P50～56	
		※電話を受けるロールプレイの実践		
4	講義	電話をかけるⅠ ①電話をかける時の心得・基本など	P68～79	
		※話し方レッスン		
5	講義	電話をかけるⅡ ①電話のかけ方 ケーススタディ ②電話をかけるまとめ	P80～92	
		※電話をかけるロールプレイの実践		
6	講義	①クレーム対応 ②英語でかかってきた場合 ③セールス電話での応対	P92～124	
		※クレーム対応ロールプレイ		
7	講義	基本のビジネスコミュニケーション	P126～140	
		※名刺交換実践 上座下座の理解を深める ホワイトボードに書いたものを写す		
8	講義	仕事がうまくすすむ会話術 ①報連相 ②ビジネスにおいての処し方	P142～172	
		※お茶の出し方実践		
9	講義	ワンランクアップの話し方	P174～190	
		接客ロールプレイ第一印象アップ 笑顔トレーニング 美しいお辞儀・所作		
10	講義	評価 筆記（50点） 実技プレゼンテーション（50点）	P8～30	

評価方法及び基準	A：①電話応対・話し方の知識を身につけ、接遇者としての意識をしっかり持ち、ビジネスマナーを身につけ、正しい接客用語や敬語で 自分の言葉でプレゼンテーションを行うことができる。②明確な目標を打ち出し、努力し、高いレベルで達成できている。③授業で学んだ 知識をプレゼン時においてしっかり発揮できる。 B：電話応対・話し方を身につけ、接遇者としての意識がある。ビジネスマナーを理解し、敬語をつかってプレゼンテーションを行うこと ができる。②目標を打ち出し、努力し、ある程度達成できている。③授業で学んだ知識をプレゼン時において発揮できる。 C：電話応対・話し方の知識を理解し、接遇者としての意識がある。ビジネスマナーを理解し、丁寧語でプレゼンテーションができる。 ②目標を打ち出し。何とか達成できている。③授業で学んだ知識をプレゼン時で表現できる。 【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価 ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。